

令和4年度 石井西地区福祉交流会

10月23日(日)石井公民館2階で、参加者95名が福祉交流会を行いました。今回は、コロナ対策として2部制での開催としました。

交流会は、来賓あいさつに代えて、松山市石井支所長 杉村幸紀様、石井公民館長 宮内正芳様のビデオメッセージが流れ、その後町内会長さんのあいさつと民生委員による演芸がセットになった各町の演芸ビデオを上映しました。

各町のビデオ撮りは緊張の連続だったそうですが、編集のおかげで皆さんに楽しんでいただけるビデオが完成。おおいに盛り上がり短い時間でしたが、楽しい交流会となりました。

来年度は、たくさんの方々に参加していただき盛大な福祉交流会が開催できることを願っています。



和泉北は、和泉音頭を披露



皆さんで楽しくおしゃべり



和泉南のサザエさんde体操は、参加者の皆さんも一緒に！



あら不思議！
風船の中にスマホが…



朝生田のマジックショーに、皆さんくぎ付け！



久々の交流会を楽しみました

令和4年度受賞おめでとうございます

松山市福祉大会

松山市市長表彰 民生委員児童委員功労者・・・有光 登美・大野 信吾・大政 富江・児玉 眞理
後藤 和美・松本 清味・吉岡 和美

地域福祉活動功労者・・・大西 圭子・前田 町子

地域福祉活動功労団体・・・石井西健康マージャン脳トレ教室

松山市社会福祉協議会会長表彰 ボランティア活動功労者・・・生鷹 千代・越久田 洋

愛媛県社会福祉大会

愛媛県県知事表彰 民生委員児童委員功労者・・・木山 節子

愛媛県社会福祉協議会会長表彰 民生委員児童委員功労者・・・池田 三喜雄

編集後記

福祉だより80号をお届けします。すっかり涼しくなり朝晩は冷え込むようになりました。今年は、真夏日・猛暑日・超熱帯夜・熱中症警戒アラート発出など、とても暑い夏でしたが、3年振りに夜市や花火大会、松山野球拳おどりが復活し、久しぶりに楽しい時を過ごした方も多かったことでしょう。

また、秋祭りではみこしの鉢合わせなど復活した地域もあり、熱気に包まれました。まだまだコロナウイルス感染症に気を付けながらの活動になりますが、石井西地区社会福祉協議会でも工夫を凝らし活動をしていきたいと思っています。

本誌に関するお問い合わせは、

Eメール：ishiinishi.fukushi@gmail.com

～石井西 やすらぎの町 愛の町～

石井西の福祉だより

第80号(令和4年11月1日発行)

石井西地区人口 29,168 人
男 13,853 人
女 15,315 人
65歳以上 7,434 人
高齢化率 25.49 %
(令和4年10月1日現在)

発行所：石井西地区社会福祉協議会

Zoomでの
オンライン講座

「子育てパパとママのための防災講座」を開催

8月7日(日) 13:30から松山市防災・危機管理課の門田侑子先生を講師に、乳幼児(0～3歳児)のいる30組の参加者と民生児童委員ほか50名が参加し、いざという時に備えて乳幼児がいる家庭特有の備蓄や避難行動についてオンラインで学びました。

講座の内容は、

- ・講義1・・・過去の災害から学ぶ・子育て世代に起きたこと。
- ・講義2・・・命を守るための行動と備えについて。
- ・講義3・・・心のケアと今からできる防災アイデアについて。

途中、トイレ休憩を兼ねたブレイクタイムやモグモグタイムを設けるなど、小さいお子さんの参加に配慮した1時間半の講座となりました。

パパとママがつくる 我が家の防災ノート



1. 防災ノートの使い方について	P2
2. 我が家の避難場所や防災グッズを確認しよう	P3～8
・避難ルートを考えるよ	・水と食料を準備しよう
・防災グッズを確認しよう	・防災グッズを確認しよう
3. 災害が起きたら・・・命を守るための行動	P9
・災害が起きたら・・・命を守るための行動	・災害が起きたら・・・命を守るための行動
・災害が起きたら・・・命を守るための行動	・災害が起きたら・・・命を守るための行動
4. 避難バッグと家族の防災グッズ	P10～12
・避難バッグと家族の防災グッズ	・避難バッグと家族の防災グッズ
・避難バッグと家族の防災グッズ	・避難バッグと家族の防災グッズ
5. 避難生活と気をつけること	P13～14
6. パンツと靴	P15
	P16
	P17～18
	P19～20



門田 侑子 先生

災害当日を乗り切る避難バック…基本は「持てる・使える」

自宅以外での災害にあった時のことを考えておくことが大事。マザーズバックには、既に子どもに必要なものが入っているのが最低限の“避難に必要なもの”と“大人が必要なもの”をプラスすると避難バックに変身です。いつも食べているお菓子や好きなおもちゃなども入れておくと子どもの心の安定や安心につながります。

今回の子育て防災講座を開催したいと思った動機

平成29年9月、重信川の水位が上がり避難勧告が発令、南中学校に避難所が開設されました。高市会長がお手伝いに行ったところ、約100名の避難者の内、高齢者は2組であとは車に荷物を詰め込み、早めに避難してきた子どもさんを連れたお母さんたちでした。この時のことがずっと気になっていて、いつか防災講座を開催したいと思っていました。



司会進行の丸井さんと
高市会長

初めてのZoom、準備やリハーサルは入念に！

今回の講座には、石井地区まちづくり協議会のICT委員会・アトムグループ・松山市社会福祉協議会・松山市包括支援センター石井・浮穴・久谷の皆さんなど多くの方にご協力いただきました。ネット接続や会場設営などみんなで相談して本番に備えました。



別室でZoomの接続操作

古川集会所・西石井集会所・朝生田分館からも参加

今年、石井地区まちづくり協議会は、災害時の情報共有とデジタル化を図るために、各分館にWi-Fi環境の整備を行いました。

今回の防災講座でもオンライン会議システムを利用させていただき、3か所の会場から参加しました。



古川集会所で
民生委員もしっかりお勉強！



西石井集会所では
みんなでダンゴムシ体操！

災害が起きた時に命を守る《3つのポーズ》

サルポーズ・ダンゴムシポーズ・アライグマポーズ
この3つのポーズは、年齢に関係なく覚えておくべき防災行動として考案されたものです。今回は、じしんだんゴムシ体操の動画を流し、みんなで一緒に体操しました。

アンケートでの参加者の感想

- ・休憩タイムで子どもの気が紛れたので、何とか1時間半持ちましたが、子どもがいるとオンラインで集中して聞くことは難しかったです。
- ・オンラインだと子どもたちが騒いでも気にならなくて良かった。子どもたちの活発な質問があり、有意義だった。物が落ちるのではなく、地震の時は、物が飛ぶ…リアルな話が聞けた。
- ・資料が素晴らしかった。
- ・今まで、防災の事はノータッチだったので、考え直すいい機会になりました。

たくさんのご意見をありがとうございました。

今後に活かしていきたいと思います。



子どもたちも熱心に質問！



最後はみんなでハイ・ポーズ！

協力会員研修会「出前サロン」を体験



7月3日（日）に、協力会員研修会を和泉南分館で実施しました。和泉北と和泉南の民生児童委員と町内会役員、地域の皆さんとで「出前サロン」を体験しました。

脳トレの間違ひ探しや介護予防メニューのゆげゆげ体操。次にチームに分かれて、ラダーゲッター・ペタンク・ゲームレール・スカットボールなどのレクリエーションを楽しみました。

ふれあい・いきいきサロンの活動内容や意義などについて教えていただき有意義な時間となりました。



お隣の地区の皆さんと
「暮らし支えあう井戸端トーク」を実施



7月6日（水）、雄郡地区（土居田）と石井西地区（和泉北）の民生児童委員による交流会「暮らし支えあう井戸端トーク」を石井公民館和泉分館で実施しました。

隣り合う地区だからこそ顔の見える関係を作り、いざという時にスムーズに連携できるようにとの思いから実現しました。

和泉町内会の皆さんも参加され、地域について熱心に話し合いました。

オレンジガーデニングプロジェクトに参加



9月の「世界アルツハイマー月間」に合わせて、オレンジガーデニングプロジェクトに参加しました。オレンジ色の花を植え付け、石井支所前に飾り付けました。



オレンジガーデニングプロジェクトとは…認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を育て、認知症についてみんなで考えていく取り組みです。